8 月のおたより



知らぬ間に、子どもたちが暖話室のホワイトボードに落書きしていました。書いたのは小学 3 年と 5 年の女の子。子供の目に映る世界がとても素敵で消してしまうのが惜しく、しばらくそのままにしておきました。人間も動物も小さな虫も、みんな同じ空間にいて楽しそう。書かれている人物は彼女たちの祖父母らしいのですが、若々しくてお友達のようです。子供たちにとっては、年齢も肌の色も性別も、ましてや職業や社会的地位など全く関係ありません。「その人が優しいか」「楽しいか」「一緒に遊べる友達か」どうかといったことなのでしょう。

差別や偏見は、成長の過程で周囲の大人の言動、メディア、社会の構造から後天的に学ぶものと言われています。また、特定の属性や差異を理由に他者を排除したり区別する性向は、生まれつきの脳の仕組み、つまり人類の歴史の生き残るための戦略であり適応でもあるらしいのですが、現代社会ではそれが差別やいじめの原因になっています。

人間には、教育や共感の力によって自分の偏見に気づき、他者と手を取り合って生きる高い理性も備わっています。こうした偏見を押さえる日常の工夫、例えば「ふつう」を疑う…「普通はこうする」「男（女）のくせに」「最近の若者は」といった主語の大きい言葉を、意識的に減らすクセが大事だと言います。その意味で「ひきこもり」はあまりにも肥大化してしまった現代の主語のひとつです。この言葉がなくなる日が 1 日も早く来ることを願わずにはおれません。　K

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

8 月　月例会ご案内

・日時：8 月 29 日（土）13：30～　（16：00 終了予定）
・会場：あわの風「open 暖話室」（館山市北条 1170-3）

テーマ：**「家族自身のストレスサインに気づくこと」**

親の生活を豊かにすることで起きる変化

【講師】臨床心理士・公認心理師　原島　あゆみ先生

千葉県精神保健福祉センターに勤務。同センター内千葉県ひきこもり地域支援センターで、ひきこもり家族教室の講師を担当しているほか、公益社団法人･千葉犯罪被害者支援センターにて犯罪被害者の支援、さらに千葉県警察本部、看護学校などで心理学等を教えている。

【次回の家族教室予定】

第6回：10月31日（土）　相談機関の利用の仕方と付き合い方

はじめて家族会に参加される方は、あらかじめ下記へお申し出ください。参加は無料です。

＜お問合せ先＞　〒294-0045 千葉県館山市北条 1170-3　ＮPO 法人あわの風 代表:加藤　峰生
☎0470-29-3840　携帯 090-2335-1338　e-mail：contact@awanokaze.org